



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東
 コード番号 6194 URL http://atrae.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新居 佳英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 鈴木 秀和 TEL 03-6435-3210
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,753	18.0	258	△44.0	261	△43.6	181	△43.2
2019年9月期第2四半期	1,485	41.9	461	40.8	462	43.3	319	42.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	13.65	13.51
2019年9月期第2四半期	24.36	23.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	4,771	4,137	86.7
2019年9月期	4,583	3,907	85.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,137百万円 2019年9月期 3,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	30.1	880	23.8	870	21.9	543	8.0	40.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、「添付資料」P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	13,290,600株	2019年9月期	13,277,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	7,566株	2019年9月期	6,211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	13,275,474株	2019年9月期2Q	13,105,829株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年5月13日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する資料を四半期決算補足説明資料として、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績の回復、雇用・所得環境の改善などにより、長らく景気は緩やかな回復傾向が続いておりましたが、米中貿易摩擦の深刻化、英国のEU離脱問題、加えて新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が世界経済に及ぼす影響に対する懸念があり、景気の先行きは不透明な状況で推移すると予想されております。

このような状況の中、当社は、「世界中の人々を魅了する会社を創る」というビジョンの下、成功報酬型求人メディア「Green」、組織改善プラットフォーム「wevox」及び完全審査制AIビジネスマッチングアプリ「yenta」を運営してまいりました。

当社成功報酬型求人メディア「Green」におきましては、前事業年度に引き続き、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化及びマス向け動画広告の試験実施等、様々な取り組みを実施しております。

これらの施策の結果、当第2四半期累計期間の入社人数は1,621人（前年同期比14.5%増）と増加いたしました。

また、Greenに次ぐ新たな事業として、「wevox」及び「yenta」の収益化に力を入れて取り組んでおります。

「wevox」は、2017年5月の正式リリース以降着実に導入企業を増やし、本書提出日現在の導入企業は1,500社を超えており、幅広い業種・業界の企業にサービスの提供を行っております。大手企業への導入も着実に進み、今後の拡販に向けて営業体制、カスタマーサポート体制の充実を図ることが重要と考えております。

「yenta」については、当第2四半期累計期間においては、ユーザー数増加施策の実施及び海外都市展開を踏まえた機能開発を行っております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,753,146千円（前年同期比18.0%増）、営業利益は258,676千円（前年同期比44.0%減）、経常利益は261,164千円（前年同期比43.6%減）、四半期純利益は181,196千円（前年同期比43.2%減）となりました。

売上高の内訳は、Greenによる売上高が1,549,378千円（前年同期比11.8%増）、新規事業による売上高が203,768千円（前年同期比103.5%増）であります。

なお、当社は、People Tech事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は4,771,108千円となり、前事業年度末に比べ187,143千円増加しました。これは主に、固定資産のうち投資その他の資産が294,878千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は633,932千円となり、前事業年度末に比べ42,809千円減少しました。これは主に、未払法人税等が57,767千円減少し、その他が21,950千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は4,137,176千円となり、前事業年度末に比べ229,953千円増加しました。これは主に、特定譲渡制限付株式の交付により資本金及び資本剰余金がそれぞれ24,440千円増加、並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が181,196千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,917,104千円となり、前事業年度末と比べて101,479千円の減少となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、175,833千円の収入（前年同四半期は333,350千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を261,164千円計上し、法人税等の支払いが124,291千円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、277,190千円の支出（前年同四半期は476千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が180,600千円、敷金の差入による支出が94,136千円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、123千円の支出（前年同四半期は4,404千円の収入）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月12日に発表いたしました2020年9月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,018,583	3,917,104
売掛金	274,778	260,463
貯蔵品	1,250	2,580
その他	71,304	84,163
貸倒引当金	△3,481	△3,435
流動資産合計	4,362,435	4,260,875
固定資産		
有形固定資産	77,685	73,416
無形固定資産	17,446	15,539
投資その他の資産	126,397	421,276
固定資産合計	221,529	510,232
資産合計	4,583,965	4,771,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,247	3,058
未払金	464,639	459,807
未払法人税等	149,441	91,673
未払消費税等	41,640	40,110
売上返金引当金	1,527	1,086
その他	16,245	38,195
流動負債合計	676,741	633,932
負債合計	676,741	633,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,098,294	1,122,734
資本剰余金	1,084,294	1,108,734
利益剰余金	1,725,300	1,906,497
自己株式	△667	△790
株主資本合計	3,907,223	4,137,176
純資産合計	3,907,223	4,137,176
負債純資産合計	4,583,965	4,771,108

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,485,881	1,753,146
売上原価	26,894	29,687
売上総利益	1,458,986	1,723,459
販売費及び一般管理費	997,126	1,464,782
営業利益	461,860	258,676
営業外収益		
受取利息	14	47
雑収入	1,026	2,792
営業外収益合計	1,041	2,839
営業外費用		
株式交付費	41	-
支払手数料	-	351
営業外費用合計	41	351
経常利益	462,860	261,164
税引前四半期純利益	462,860	261,164
法人税等	143,641	79,968
四半期純利益	319,218	181,196

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	462,860	261,164
減価償却費	7,403	8,629
受取利息	△14	△47
株式交付費	41	-
売上債権の増減額(△は増加)	△41,208	14,314
貸倒引当金の増減額(△は減少)	91	△46
仕入債務の増減額(△は減少)	615	△189
未払金の増減額(△は減少)	15,303	△4,831
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,680	△1,530
売上返金引当金の増減額(△は減少)	△468	△440
その他資産の増減額(△は増加)	997	14,549
その他負債の増減額(△は減少)	4,547	8,505
小計	458,852	300,078
利息の受取額	14	47
法人税等の支払額	△125,515	△124,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,350	175,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△476	△1,504
無形固定資産の取得による支出	-	△950
投資有価証券の取得による支出	-	△180,600
敷金の差入による支出	-	△94,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△476	△277,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	4,446	-
その他	△41	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,404	△123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337,278	△101,479
現金及び現金同等物の期首残高	3,377,918	4,018,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,715,196	3,917,104

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、People Tech事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。